



《 IS940.1 》

SAFETY INSTRUCTIONS
JAPAN

i.safe MOBILE

EXマーキング

› ATEX:

- ⊕ II 2G Ex ib IIC T4 Gb
- ⊕ II 2D Ex ib IIIC T135°C Db

EUタイプ試験証明書:
EPS 24 ATEX 1 010 X
CE認定: c€ 2004

› IECEx:

- Ex ib IIC T4 Gb
 - Ex ib IIIC T135°C Db
- IECEx認定: IECEx EPS 24.0001X

› ジャパンエックス:

- Ex ib IIC T4 Gb
- Ex ib IIIC T135°C Db

› 温度範囲:

- 20 °C ≤ Ta ≤ +55 °C (EN/IEC 60079-0)
- 10 °C ... +55 °C (EN/IEC 62368-1)

› 製造元:

i.safe MOBILE GmbH
i_Park Tauberfranken 10
97922 Lauda-Koenigshofen
Germany



IS940.1 | MODEL M940A01
Document No. 1065MM09REV00
Version: 2025-07-30

i.safe MOBILE GmbH
i_Park Tauberfranken 10
97922 Lauda-Koenigshofen
Germany

Tel. +49 9343 60148-0
info@isafe-mobile.com
www.isafe-mobile.com

(c) 2025 i.safe MOBILE GmbH

Template: TEMPMM01REV10



www.isafe-mobile.com/en/support/downloads



日本語

▲ デバイスを使用する前に、これらの安全上の注意事項および操作マニュアルをよくお読みください。これらの指示を守らないか理解していない場合、死亡、重大な怪我、デバイスの損傷につながる可能性があります。最新の操作マニュアルは、www.isafe-mobile.com/en/support/downloads から入手できます。

このデバイスを使用できるのは、爆発の危険がある区域でのExデバイスの使用に関するトレーニングと認定を受け、この操作マニュアルを読んで理解したユーザーだけです。

- ▶ デバイスとパッケージに記載されているすべての指示を遵守してください。
- ▶ 地域の安全規制を遵守してください。
- ▶ このデバイスは、ゾーン1/21および2/22の爆発の危険がある区域内、または爆発の危険がある区域の外部のみで使用してください。
- ▶ 爆発の危険がある区域にデバイスを持って入る前に、以下のことを確認してください。
 - デバイ스에接続されているのが承認済みのアクセサリのみであること。
 - デバイスの両半分の間隙がないこと。
 - デバイスに損傷がないこと。
 - デバイス上のすべてのラベルが読み取り可能であること。
 - 付属のバッテリーまたは承認された交換用バッテリー以外は使用しないでください。
 - バッテリーに損傷がないことを確認してください。
 - バッテリーがしっかりと取り付けられていること。
- ▶ 爆発の危険がある区域でデバイスを使用する場合、
 - デバイスのネジを緩めないでください。
 - デバイスにアクセサリを接続しないでください。
 - インターフェースカバーを開けないでください。
 - デバイスをUSB-Cまたは16ピンISMインターフェースを介して充電しないでください。
 - デバイスのカバーを開けないでください。
 - デバイスを損傷しないでください。
- ▶ 以下の場合、ただちにデバイスの電源をオフにし、すみやかに爆発の危険がある区域の外に出てください。
 - デバイスが誤作動した場合。
 - デバイスの筐体に損傷が生じた場合。
 - デバイスに過大な負荷をかけた場合。
 - デバイスの保管方法が不適切な場合。
 - デバイス上のラベルが読み取り不能になった場合。
- ▶ デバイスの構造を変更しないでください。
- ▶ デバイスを高温になる場所に置かないでください。
- ▶ デバイスを強い紫外線に当てないでください。
- ▶ デバイスを大きい電荷が発生するプロセスに近づけないでください。
- ▶ デバイスを強い酸や塩基に触れさせないでください。
- ▶ ディスプレイに鋭利なものが当たらないようにしてください。
- ▶ デバイスとアダプターを、電磁調理器や電子レンジなどから発生する強い電磁界の中に置かないでください。
- ▶ i.safe MOBILE GmbHによって承認されたアクセサリだけを使用してください。
- ▶ ユーザー自身でデバイスのカバーを開けたり、修理を行ったりしないでください。
- ▶ 使用が禁止されている場所でデバイスを使用しないでください。

- » 病院やその他の医療施設内ではデバイスの電源をオフにしてください。
- » デバイスとペースメーカーや補聴器の間は、安全のため15 cm以上離してください。デバイスは、ペースメーカーや補聴器などの医療機器の動作に干渉する可能性があります。
- » 自動車の運転中にデバイスを使用する場合は、適用される法律に従ってください。
- » イヤホンまたはヘッドセットを使用する場合、最初はデバイスの音量を最大音量の50%に設定してください。その後、少しずつ音量を調整してください。
- » 必ず付属のi.safe PROTECTOR 2.0 USB-Cケーブル、またはi.safe MOBILE GmbHによって承認されたその他の充電機器のみを使用してデバイスを充電してください。
- » デバイスの充電は、周囲温度が0 °C~+45 °C (+32 °F~+113 °F)の環境で行ってください。
- » 引火性物質の近くでデバイスを充電しないでください。

USB-Cまたは16ピンISMインターフェースを介した充電

- » デバイスは、屋内でのみ充電してください。
- » ほこりや湿気の多い環境ではデバイスを充電しないでください。
- » サードパーティ製のUSB電源ユニットを使用する場合は、以下の点に注意してください：
 - サードパーティ製 USB 電源ユニットは、適用される国の規制および国際安全規格、地域安全規格に準拠している必要があります。
 - サードパーティ製USB電源ユニットは、指定された充電率を確保するために、最低10W~15Wの出力が必要です。本機はUSB PD急速充電に対応していません。
 - サードパーティ製USB電源アダプタを使用する場合でも、デバイスの充電は付属のi.safe PROTECTOR 2.0 USB-Cケーブルのみを使用してください。

ドッキングステーションIS-DS940.1を介した充電

www.isafe-mobile.com/en/support/downloadsからIS-DS940.1取扱説明書を参照してください

関連する安全規則

このデバイスの使用は、作業者が従来の安全規則を順守し、マニュアル、安全に関する指示書および証明書を読み、理解していることを前提としています。

爆発危険エリアで使用する場合、次の安全規定も遵守する必要があります：

カバー

- » 爆発危険区域内では、16ピンISMインターフェースとUSB-Cインターフェースのカバーを閉じる必要があります。
- » 12ピンドッキングインターフェースは、爆発危険区域内で覆う必要はありません。使用しない時は、12ピンドッキングインターフェースを汚れから保護することをお勧めします。”

アクセサリ

- » i.safe MOBILE GmbHによって承認されたアクセサリのみ、爆発危険区域外で16ピンISMインターフェースに接続することができます。
- » 爆発危険区域内では、以下のアクセサリを16ピンISMインターフェースと接続した状態で使用できます。
 - IS-HS2A.1 ヘッドセット
 - リモートスピーカーマイク IS-RSM3A.1
 - IS-PTTB1A.1 PTT ボタン
 - IS-HDHS1x.1 ヘッドセットと併用する IS-PTTB1A.1 PTT ボタン
 - i.safe MOBILE GmbH 承認済みのその他のアクセサリ。

- » IS-PTTB1A 1 PTTボタンを、デバイスの16ピンISMインターフェースにIS-HDHS1x.1ヘッドセットと同時に接続している場合、爆発危険区域内で、IS-PTTB1A 1とIS-HDHS1x.1ヘッドセット間のNexus®接続の解除、再接続が可能です。IS-PTTB1A.1をIS-HDHS1x.1ヘッドセットなしで使用する場合、爆発危険区域内では、IS-PTTB1A.1の使用していないNexus®ジャックはオープンにしておいてください。使用しない時は、Nexus®ジャックを汚れから保護することをお勧めします。
- » ヘルクロファスナのついたアクセサリ（IS-HDHS1B.1 ヘッドセットなど）を使用する場合、ヘルクロファスナの調整は爆発の危険がある区域外でのみ行うことが可能です。
- » アクセサリの16ピンISMコネクタは16ピンISMインターフェースにしっかり接続してください。
- » ドッキングステーションIS-DS940.1またはi.safe MOBILE GmbH承認済みのアクセサリは、爆発危険区域内で、データ接続および充電のために12ピンドッキングインターフェースに接続することができます。

IP保護

- » IP保護を保証するため、デバイスにすべてのシーリングが適切に備わっていることを確認してください。バッテリーとハウジングの間に大きな隙間があってはならない。

充電

- » i.safe PROTECTOR 2.0 USB-Cケーブル、i.safe MOBILE GmbH承認済みのその他のアクセサリ、またはUm = 5.88 Vを保証するその他のアクセサリは、爆発危険区域外で、充電あるいはデータ接続のためにUSB-Cに接続することができます。
- » このデバイスは、0 °C ~ +45 °C (+32 °F ~ +113 °F)の周囲温度でのみ充電することができます。

SIMおよびSDカード

- » 証明書に記載の本質安全接続パラメータに準拠するnano-SIMカードは、危険区域の対応するスロットで使用できます。
- » microSDカードタイプIS-SD164.1または証明書に記載されている本質安全接続パラメータに準拠するmicroSDカードは、危険区域の対応するスロットで使用できます。

影響

- » デバイスを浸食性のある酸やアルカリにさらさないでください。
- » このデバイスは、高い衝撃エネルギーを持つ衝撃、過度の紫外線放出、高い静電気プロセスから保護する必要があります。

使用条件

- » 許容周囲温度範囲は-20 °C ~ +55 °C (-4 °F ~ +131 °F)です。
- » デバイスは、ゾーン1、2、21、または22でのみ使用できます。

欠陥と損傷

デバイスの安全性が損なわれたと疑われる理由がある場合は、デバイスの使用を中止し、直ちに危険区域から取り外してください。デバイスが誤って再始動しないようにするための対策が必要です。たとえば、次のような場合、デバイスの安全性が損なわれる可能性があります。

- » 誤作動の発生時。
- » デバイスのハウジングに損傷が見られる場合。

- » デバイスが過剰な負荷にさらされている場合。
- » デバイスの保管方法が不適切な場合。
- » デバイスのマークやラベルが読みにくい場合。

エラーが表示されたり、エラーが疑われるデバイスについては、i.safe MOBILE GmbH に返送して、確認することをお勧めします。

バッテリー

バッテリーには有機溶剤などの可燃性物質が含まれています。バッテリーの不適切な取扱いにより、発火、発煙、爆発を引き起こす場合があります。これにより死亡や重傷につながる危険が生じます。

以下について必ず順守してください。

- » デバイスを日常的に使用する場合、バッテリーは最初の使用から2年後、遅くとも500回の充電サイクル後、または動作時間が大幅に短縮されたら交換してください。
- » バッテリーに、異臭、発熱、変色、変形などの明らかな異常がみられる場合は使用しないでください。
- » 液漏れしたバッテリーは使用せず、触れないでください。
- » バッテリーを裸火、ヒーター、または高温 (80 °C (176 °F) 以上) の近くで使用したり、置かないでください。
- » バッテリーを100 Vを超える静電気が発生する場所で使用しないでください。
- » バッテリーを水、飲料またはその他の液体に浸さないでください。
- » バッテリーを電子レンジやその他の調理機器の中や付近に置かないでください。
- » バッテリーを使用目的の異なるデバイスに使用しないでください。
- » バッテリーを短絡させないでください。
- » バッテリーに過度の衝撃を与えないでください。
- » バッテリーに釘をさしたりハンマーでたたかないでください。
- » バッテリーを分解しないでください。
- » バッテリーを輸送する際はケースや箱に入れてしっかり梱包してください。
- » バッテリーを可燃物の近くで充電しないでください。
- » バッテリーの充電には必ずi.safe MOBILE GmbHによって承認された充電機器を使用してください。
- » バッテリーは、周囲温度0 °C ~ +45 °C (+32 °F ~ +113 °F) の範囲内で充電してください。
- » USB-Cまたは16ピンISMインターフェースを介した充電: バッテリーは乾燥した屋内でのみ充電してください。 バッテリーはほこりや湿気のある環境で充電しないでください。
- » バッテリーを長期間使用しない場合は、デバイスから取り出してください。バッテリーを3~6か月毎に約50 % ~ 70 %まで充電して、深放電を避けてください。
- » バッテリーを涼しく乾燥した場所に保管して、機能を維持してください。
- » バッテリーを金属製の物質と一緒に保管しないでください。
- » バッテリーは家庭ごみと一緒に捨てないでください。
- » バッテリーは地域の規則および規制に従ってリサイクルしてください。

比吸収率 (SAR) 認証情報

SARの制限値は、15mmの胴体で2.0W/kg。SAR 制限値は、0mm における四肢の場合、4.0W/kg です。本装置はこのSAR制限値で試験されました。製品認証の際、この規格に基づき報告された四肢の最高SAR値は1,581W/kgです。このデバイスは、携帯電話端末の背面を身体から15mm離れた状態で、典型的な身体装着操作についてテストされました。ベルトクリップ、ホルスター、および類似のアクセサリーを使用する場合は、アセンブリに金属部品が含まれないようにしてください。これらの要件を満たさないアクセサリーの使用は、RF曝露要件に適合しない可能性があるため、避ける必要があります。

日本国内の比吸収率 (SAR) について

国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。タブレットを人体の近くでご使用になる場合、キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から15mm以上離し、かつその間に金属を含む物を挟まないようにしてください。

WI-FI警告

周波数帯: 5150 - 5250 MHz:

- » 屋内使用: 建物内のみ。道路運送車両、鉄道車両内への設置・使用は禁止。
- » 屋外での使用に限る: 屋外で使用する場合は、機器を固定設備、道路運送車両の外装、固定インフラ、固定屋外アンテナに取り付けてはならない。無人航空機システム(UAS)による使用は、5170~5250MHz帯内に限定される。

周波数帯: 5250 - 5350 MHz:

- » 屋内使用: 屋内使用: 建物内のみ。道路運送車両、列車、航空機への設置・使用は不可。
- » 屋外での使用は許可されていない。大型航空機(マルチエンジン・ヘリコプターを除く)でのWAS/RLANの運用は2028年12月31日まで許可されている。

周波数帯域: 5470~5725MHz:

- » 道路運送車両、列車、航空機への設置・使用、無人航空機システム(UAS)への使用は許可されない。
- » 周波数帯域5600 - 5650 MHzを除く大型航空機(多発ヘリコプターを除く)へのWAS/RLANの設置運用は、2028年12月31日まで許可される。

音圧警告

イヤホンまたはヘッドセットを使用する場合

- » 最初は、デバイスの音量を最大音量の50%に設定してください。
- » その後、少しずつ音量を調整してください。



CONTACT/SERVICE CENTRE

FOR FURTHER QUESTIONS PLEASE CONTACT OUR SERVICE CENTRE:

- » **i.safe MOBILE GmbH**, i_Park Tauberfranken 10, 97922 Lauda-Koenigshofen, Germany
- » support@isafe-mobile.com
- » <https://support.isafe-mobile.com>

EU – Declaration of Conformity

EU – Konformitätserklärung

according to directive 2014/34/EU, 2014/53/EU and 2011/65/EU (2015/863/EU)

nach Richtlinie 2014/34/EU, 2014/53/EU und 2011/65/EU (2015/863/EU)

The company i.safe MOBILE GmbH declares under its sole responsibility that the product to which this declaration relates is in accordance with the provisions of the following data, directives and standards:

Die Firma i.safe MOBILE GmbH erklärt in alleiniger Verantwortung, dass Ihr Produkt, auf welches sich diese Erklärung bezieht, den nachfolgenden Daten, Richtlinien und Normen entspricht:

<p>Name & address of the manufacturer in the EU <i>Name & Anschrift des Herstellers innerhalb der europäischen Gemeinschaft</i></p>	<p>i.safe MOBILE GmbH i_Park Tauberfranken 10 97922 Lauda – Koenigshofen Germany</p>
<p>Description of the device <i>Beschreibung des Geräts</i></p> <p>Accessories <i>Zubehör</i></p>	<p>Explosion protected tablet <i>Explosiongeschütztes Tablet</i> type / <i>Typ</i>: IS940.1 model / <i>Modell</i>: M940A01</p> <p>Battery / <i>Batterie</i> Type / <i>Typ</i>: BPIS940A.1A Model / <i>Modell</i>: MBP940AA01</p> <p>Power supply unit / <i>Netzteil</i>: ICP12-050-2000B USB-C cable / <i>USB-C Kabel</i>: i.safe PROTECTOR 2.0 Docking Station / <i>Dockingstation</i>: IS-DS940.1 In-ear-headset / <i>In-Ear-Headset</i>: IS-HS2A.1 PTT-button with Headset / <i>PTT-Taste mit Headset</i>: IS-PTTB1A.1 & IS-HDHS1x.1 microSD cards / <i>microSD-Karten</i>: IS-SD164.1 & IS-SD1128.1</p>
<p>Ex – marking <i>Ex – Kennzeichnung</i></p>	<p>⊕ II 2G Ex ib IIC T4 Gb ⊕ II 2D Ex ib IIIC T135°C Db</p>
<p>Type examination certificate 2014/34/EU issued by <i>Baumusterprüfbescheinigung 2014/34/EU ausgestellt durch</i></p> <p>Applied harmonized standards <i>Angewandte harmonisierte Standards</i></p>	<p>EPS 24 ATEX 1 010 X</p> <p>Bureau Veritas E&E Product Services GmbH Businesspark A96 86842 Tuerkheim, Germany Identification number / <i>Kenn-Nummer</i>: 2004</p> <p>EN IEC 60079-0:2018; EN 60079-11:2012; IEC 60079-0:2017; IEC 60079-11:2023</p>

<p>Conformity statement 2014/53/EU <i>Konformitätsaussage 2014/53/EU</i></p> <p>Applied harmonized standards <i>Angewandte harmonisierte Standards</i></p>	<p>ETSI EN 300 328 V2.2.2 (2019-07); ETSI EN 301 893 V2.1.1 (2017-05); ETSI EN 301 908-13 V13.2.1 (2022-2); ETSI EN 301 908-2 V13.1.1 (2020-06); ETSI EN 300 440 V2.2.1 (2018-07); ETSI EN 303 413 v1.2.1 (2021-04); ETSI EN 301 908-1 V15.2.1 (2023-01); Draft ETSI EN 301 908-25 V15.1.1; ETSI EN 300 330 V2.1.1 (2017-02) ETSI EN 301 489-1 V2.2.3 (2019-11); ETSI EN 301 489-3 V2.3.2 (2023-01); Draft ETSI EN 301 489-17 V3.2.6 (2023-03); ETSI EN 301 489-19 V2.2.1 (2022-09); ETSI EN 301 489-52 V1.2.1 (2021-11); EN 55032:2015+A1:2020; EN 55035:2017+A11:2020; EN61000-3-3:2013+A2:2021; EN 50566:2017; EN 62209-2:2010+A1:2019; EN 50663:2017; EN 62479:2010; EN IEC 62368-1:2020+A11:2020; EN IEC 62680-1-3:2022; EN 50332-1:2013; EN 50332-2:2013</p>
<p>Conformity statement 2015/863/EU amending 2011/65/EU <i>Konformitätsaussage 2015/863/EU ergänzt 2011/65/EU</i></p> <p>Applied harmonized standards <i>Angewandte harmonisierte Standards</i></p>	<p>IEC 62321-2:2021; IEC 62321-1:2013; IEC 62321-3-1:2013; IEC 62321-4:2013+A1:2017; IEC 62321-5:2013; IEC 62321-7-1:2015; IEC 62321-7-2:2017; IEC 62321-12:2023; IEC 62321-6:2015; IEC 62321-7:2017</p>
<p>CE Marking <i>CE-Kennzeichnung</i></p>	<p>CE 2004</p>

Lauda – Koenigshofen 22.01.2025



Managing Director

Geschäftsführer

ISAFE-MOBILE.COM